

実地視察教員養成機関に対する講評

実地視察日：令和元年12月2日（月曜日）

実地視察機関：奈良保育学院

【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程及び教員組織等について、教員養成機関指定基準等の観点ではおおむね問題なく実施されているものの、その他では是正すべき点も確認された。今後教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。

【個別事項】

1. 教員養成課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 「建学の精神である三大教育方針「敬身・敬学・敬事」を体現する人を育成し、人格的・知的・情緒的に優れた幼児教育者及び児童福祉関係従事者を養成することを目指している」という教員養成に対する理念・構想を示しているが、それを具現化するための教員養成課程に対する全学的な組織、教育課程及び教員組織を一層充実させるように努めていただきたい。

2. 教育課程（教科及び教職に関する科目）、履修方法及びシラバスの状況

- 教科に関する専門的事項「国語」の内容が、文章の書き方、話し方の基本など、教科「国語」の内容に関する専門的知識を深める内容になっていない。学問領域に関する背景知識も含めた教科の専門的知識を深化させる内容となるよう、教育職員免許法施行規則に定める事項の趣旨に照らして見直すこと。
- 令和4年度までの領域に関する専門的事項への移行に当たっては、各領域について教育職員免許法施行規則に定める事項の趣旨に照らして適切な授業内容となるよう、課題を整理しながら科目名、教員業績の追加も含め検討すること。

3. 教育実習の取組状況

- 実習校を全て学院が差配して決定した上で、ほぼ全ての教育実習先に担当指導教員が巡回指導を行うなど、丁寧な教育実習指導が行われている状況が確認された。引き続き、実習校と連携を進め、巡回指導を含め、適切な教育実習指導に努めていただきたい。
- 教育実習の受講資格について、教員免許状取得に係る科目の履修が定められていない。教育実習を有用なものとするためにも、相当の授業科目を履修条件とするよう見直すこと。特に、幼児理解や指導計画の作成など、教育実習を行うために必要となる内容の観点から、生徒が困らないよう検討すること。

4. 生徒への教職指導の取組状況及び体制

- 教育課程検討委員会、実習検討委員会、就職検討委員会を組織し、6名の常勤教員全員が、生徒への履修指導、生徒の理解度を踏まえた授業計画の検討、苦手分野の補完的な指導など、小規模校である利点を生かし、きめ細かな教職指導に取り組んでいる姿勢は評価できる。今後は、履修カルテの改訂も含め、より積極的に教職指導に活用する方策について引き続き検討いただきたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 教職に関心のある生徒が、早い段階から学校におけるボランティア活動等を通じて、教職の魅力や教員としての適性等を把握した上で、教員免許状の取得を目指すことは重要であることから、今後も教員免許状取得希望者に積極的に履修を推奨するなど、地元の教育委員会・幼稚園との連携・協働に努めていただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 幼稚園の教員養成のために必要な施設について、整備されている状況が確認された。
- 教職関連図書・雑誌については、教職を志す生徒が、教育に関する最新の情報を入手することができるように、引き続き図書環境の充実に努めていただきたい。

7. その他特記事項

- 今後も、指導大学である奈良教育大学と緊密に連携をしながら、教育課程、教員組織、施設・設備等のあり方について検討し、より充実した教員養成を行うこと。